

施策分析シート

No1

施策名	子どもの健康づくり支援	施策No	11-05	部課名	健康部健康推進課		
				課長名	伊津野 孝	内線	420
関連部課名	健康部保健予防課						
行政評価 事業体系	分野	健康・福祉・子育て					
	政策	安心して子育てができる社会の実現					

目的 妊娠期から就学前までの親子の健康保持・増進を目指し、乳幼児健診や各種健康講座・相談・訪問などの事業を通して、育児不安の解消と子育て支援を図る。

指 標	施策の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明
		平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値 (28年度)	
①	育児不安をもつ親の割合	—	—	11.0%	8.8%	乳幼児健診のアンケートによる
②	講座を通じて友人ができた人の割合	—	—	85.0%	100.0%	母親学級のアンケートによる
③	子育てグループ数	—	—	12団体	48団体	②等を通じてグループ化された団体数

現状と課題 ○核家族化がより一層進む中、親の育児不安や出産・育児環境の悪化が懸念される。こうした傾向に対応し、より効果的な子育て支援策を検討していく必要がある。

今後の方向性 ○支援を必要とする事例のスクリーニング的役割を担う現在の乳幼児健診や妊産婦・新生児訪問事業等を着実に実施するとともに、関係機関との連携により効果的な育児支援策を推進していく。

施策の優先度	優先度についての説明・意見等
A	次世代を担う子どもの健全な育成は、社会の持続的発展に欠かせない。この施策は、乳幼児期の親子の健康を保持、増進することで子どもの健全な育成の一端を担うものであることから優先度は極めて高い。

施策分析シート

No2

施策を構成する事務事業の優先度					
事務事業名	事務事業No	決算額（千円）		施策推進のための優先度	優先度についての説明・意見等
		平成16年度	平成17年度		
母親学級・両親学級	07-02-16	470	463	A	妊娠・出産・育児を安心して行うことができる環境を作るため欠かせない事業であり優先度は高い。
妊産婦健康診査	07-02-17	21,380	21,612	C	流・早産、妊娠中毒症を予防するため必要な事業である。
乳幼児健診（4か月児）	07-02-18	2,714	2,724	A	育児不安の解消や乳児の健全な育成のため欠かせない事業であり優先度は高い。
乳幼児健診（1歳6か月児）	07-02-19	4,706	4,725	B	幼児の健全な育成のため重要な事業である。
乳幼児健診（3歳児）	07-02-20	5,024	5,075	B	幼児の健全な育成のため重要な事業である。
乳幼児健診（6・9か月児）	07-02-21	16,332	16,049	C	乳児の健全な育成のため必要な事業である。
経過観察健診	07-02-22	1,647	1,411	C	経過観察の必要な乳幼児の早期療育に必要な事業である。
乳幼児（精密）検査	07-02-23	199	167	C	健診の結果、疾病や異常が疑われる乳幼児の診断、早期指導に必要な事業である。
妊産婦・新生児訪問	07-02-24	2,558	2,655	A	産後うつや育児不安への早期対応のため欠かせない事業であり優先度は高い。
母子健康手帳交付費	07-02-27	426	451	B	乳幼児の健康管理のため重要な事業である。
乳幼児健康教育	07-02-30	67	115	B	離乳食講習等により乳幼児の健全な発育を支援するため重要な事業である。
歯科衛生費（歯科衛生相談室）	07-02-32	1,177	1,124	B	乳幼児の口腔保健の向上のため重要な事業である。
合 計		56,700	56,571		